

2024年度物価高騰及び子育て対応支援枠助成 1次募集申請団体一覧

団体名	所在地	事業名	事業概要
NPO法人 にじのはしファンド	那覇市	地域に根差した子どもの居場所	<p>(1) 開所日：毎週火曜日～金曜日15時～20時、土曜祭日、長期休暇時10時～16時</p> <p>(2) 概要：</p> <p>【居場所の提供】</p> <p>(a)子どもが「行きたい」「居たい」と思えるような「居場所」をつくる。リラックスして過ごせるよう、本やマンガ、ボードゲーム等を備え、Wifiを完備し、遊びたい子どもは好きなように遊べるようにする。</p> <p>【食事の提供】</p> <p>(b)友人と楽しみながら栄養バランスの良い食事がとれるように、定時に食事を提供する。</p> <p>【学習・体験のサポート】</p> <p>(c)教員経験者や学生ボランティアを配置し、家庭学習やさらなる学びをサポートする。</p> <p>(d)「経験の不足」を解消するため、体験型イベント（お泊り会や遠足、映画鑑賞会、クリスマスイベント等）を実施する。季節毎の食育イベントを行う（例：恵方巻作り、バレンタインチョコレート作り、沖縄そばの日等）</p> <p>【見守り、生活習慣の習得】</p> <p>(e)子どもとの1対1の関係を重視しつつ、保護者や関係者と連携し、成長を見守る。</p> <p>(f)子どもたちの生活習慣形成や、自分を大切にするための講座を開催（歯磨き講習、性といのちの教育、平和学習等）する。</p> <p>(g)近隣の小中学校、地域支援団体との関係を深め、相互理解のもとに子どもの成長をともに見守る。</p> <p>【事業の安定運営を図る】</p> <p>(h)事業の持続的発展のため、活動をSNS等で発信する等、中長期的に安定した運営を可能にする基礎作りを行う。</p>
子どもの広場in我那覇	豊見城市	こどもたちに学習と 体験をし、夢を見つけよう	<p>子どもたちに、月2回の土曜日や長期休暇に宇宙航空研究開発機構（JAXA）や沖縄科学技術大学院大学（OIST）、沖縄県立農業大学校などの先端技術を学んだり、中学生や高校生には琉球大学・沖縄国際大学・名桜大学・沖縄大学・沖縄県立看護大学等へのオープンキャンパス、沖縄の産業を学ぶ上での製糖工場の黒糖作りの見学、製塩所の塩作り体験・ガラス工房での琉球グラス・やちむん、漁業体験、農業体験、畜産体験などを学べることをしていく。製造工場では、オキコパン・くしけんパン、上間菓子店、その他菓子製造工場などに行き、学ぶことや、RBCなどの放送局へ行き、職場を見て学習する。夏には宿泊研修をし、北部の自然や観光地、ヤンバルクイナ生態などを学べるようにしていく。また他の居場所事業を運営している所と共同イベントを行い、様々な企業・団体が子どもの居場所事業と繋がるように働きかけていく。調理体験では、沖縄の郷土料理やお菓子などを教えながら作る取り組みをする。</p> <p>学習支援では、小中学生に英語検定・漢字検定・数学検定などの対策をしたり、中学生から高校生にはテスト対策・受験対策をする。海外の学生や社会人とオンラインで交流し、海外の文化や言語を学ぶ。また集中力が続かない小学生には、カードゲームやPowerPointで作った学習支援プログラムなどを使い、遊びながら学べるようにする。</p>

神塾宜野湾	宜野湾市 不登校エデュケーション &クリエイト支援事業	<p>不登校の多くは何らかの生きづらさを抱えており、登校するにはストレスがかかる。しかしいずれは自立しないといけないことを考え、当塾では学習支援に加えきっかけがあれば一人で伸ばしていける「音楽」「美術」も指導することにより、自己肯定感を高め、不登校でも自立を目指せるような支援をし、その結果不登校が解消されると尚よいと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学習支援 <ul style="list-style-type: none"> ・個別の学力や状況に応じた学習計画を策定 ・個別学習、学校課題、定期テスト・入試対策 ・通塾が困難な生徒へのリモート学習 ・自立学習が困難な通信制高校生に対しての学習支援 ②生活支援 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な挨拶や身の回りの整理整頓等の自立に向けて必要な事柄について、活動時から取り組めるよう声掛け ・来所日や来所時間の設定による、生活リズムの向上 ③社会活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・芸術的指導を実施し、興味関心を引き出し、情熱を傾けられるスキルの向上を目指す ・定期的に社会体験活動のイベントを実施し、興味関心の幅を広げる機会とする ・キャリア教育では自分の興味や関心を知る所からスタートし、プログラムを通して前向きなキャリア形成を目指す ④相談支援 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な面談を通して生徒・保護者の困り感のヒアリング ・状況に応じて各関係機関と連携した生徒の状況把握 ・生徒の状況に応じ、関係機関等必要な支援を受けられる社会資源へと繋ぎ、連携した支援 ⑤送迎支援 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の状況等を考慮し、必要に応じて実施
一般社団法人 子どもの居場所こばんち	那霸市 こばんち学習支援2025	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所活動の一環として、新たに「認知能力を育む基礎学力を習得する(コグトレ学習)」ための環境、体制を構築します。 ・地域において、放課後に子ども達が自由に利用できる居場所として週5日開所します。 ・マルチ型の居場所として多様な活動（子ども食堂、学習、保健教室、エイサー、クッキング、制作等）を用意し、子ども達が足を運ぶきっかけを増やし、他者と関わる社会性を学びながら、スムーズに学習に取り組めるようサポートします。 ・保護者、学校等関係機関と連携しながら、児童の困り感を把握し、基礎学力の土台づくりに努めます。 ・当事業スタッフが「コグトレ認知作業トレーナー養成」のワークショップにてスキルを習得し、関連書籍を活用しながらコグトレ学習を提供します。 ・オープン型の居場所として、来所児童全員にコグトレ学習の機会を提供しながら、保護者・学校からの依頼により個別学習支援にも対応します。 ・関係機関と連携し、日常生活や成長に困難を抱える子ども 若者 家庭へ、訪問支援を行い当所との繋がりを築きます。 ・当団体活動の認知・普及、組織の基盤強化として、地域のお祭りにて写真展・オリジナル商品の販売を行います。 ・上記事業を行うため、事業責任者(代表)1名の他、個別支援担当1名、学習支援担当1名、事業担当補助4名、経理担当1名、総務担当1名の体制にて運営いたします。

一般社団法人 3 びーす 5 8	沖縄市	<p>山内小、中学校の卒業生で教員免許を保持しているスタッフが学習支援を行つ。学校や子どもたちと関わりの深い私たちが本事業を行うからこそ、地域や学校と連携して子どもたちへの支援を強化し、課題解決に向けた一歩を共に進めていける。</p> <p>《学習支援》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内で学習支援を実施し、学習意欲を失てしまっている子や授業内容の理解が難しい子に対して個別の学習支援を提供する。生徒と学習目標を設定し、学びの動機付けを高める。 ・学校でも活用されている使い慣れたアプリ教材で個々の学習レベルの現在地を把握し、学校の教員と共有・連携してサポートを強化する。（月1回 情報共有会議） ・長期休暇には学習会を開催し、より個々の学習ニーズに応じた学習支援、テスト対策や受験対策を提供する。 ・交流をベースとした学び体験で学びを楽しみ、学習意欲を高める。 ・企業訪問や職業体験を通じて子どもたちの視野を広げ、将来について考える機会を提供する。 <p>《生活支援》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事配布を行うことで生活習慣を整えつつ、学習への集中力を高める。 <p>《繋がり》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関を呼び活動成果報告会を行い、現場の声を共有する。 ・生徒、教師、保護者間の繋ぎ役として活動し、相互理解を促進し、安心して過ごせる地域・学校づくりを推進する。 <p>地域全体で支援を強化し、子どもたちの学習意欲を引き出し、将来を自分の力で切り拓けるよう成長できる環境を整える。</p>
一般社団法人おーきな笑	うるま市	<p>本事業では、うるま市の島嶼地域に住む小・中学生を対象に、基本的な食支援・生活習慣支援を行いながら学習支援を行うことを目的とする。生活習慣の乱れが学習意欲の低下につながることから、まずは基本的な生活リズムを整えることを重視し、その上で学習環境の充実を図る。</p> <p>週3回（月・水・金）は、オープン型の学習支援や食支援を行い、安心して過ごせる環境を提供する。放課後に食事をとって活力をつけた後に学習を行う。宿題やICT教材・プリント教材を用いて家庭に学習環境のない子ども達へ学習環境を整備する。</p> <p>週2回（火・木）は、クローズ型で個別の食・学習・生活支援を行う。子ども達の中には人前で学習することに抵抗がある子や、日常的に家庭に居場所がない子、相談したくてもほかの子ども達がいる場では話しにくい子などがいるため、個別対応が必要な子どもに向き合う日を設ける。</p> <p>上半期は特に子ども達の生活習慣の基礎づくりに重点を置き、土日祝日や長期休暇も活用しながら、食支援や宿泊体験学習を通じて生活レベルの向上・安定を目指し、学習支援につながる活動を増やす。下半期から学習意欲のレベルに合わせて検定試験へ挑戦できる環境を整備する。また、当団体のみでは対応が難しい家庭への支援策や対応方法を学ぶため、行政機関や他団体の居場所・専門家などと連携を図りながら、支援体制を整える。</p>

特定非営利活動法人 シンコペーション	浦添市 沖縄のこどもたちの教育格差解消と食支援 事業	<p>1、子ども支援として既存施設児童館を活用した活動 (1) 子ども食堂での食事支援（調理食の会食・学習支援時のお弁当提供） (2) 大学生との協働による学習支援（SDGs啓発活動・オンラインツールを活用した個別学習指導）</p> <p>2、基礎学力向上を図るための活動 (1) すららネットを活用した個別学習指導 (3) 珠算学習 (3) 大学生による個別学習指導 (4) 各種検定試験の受検サポート</p> <p>3、社会課題に取り組む若者支援策として (1) 社会課題に取り組む若者世代が不安なく活動を継続できる環境作りのために研修会、情報交換会、視察を実施する。</p> <p>4、社会課題解決に向けた研修会などの実施 (1) こども支援・政策研究室やゆいまわるなどの専門家からの研修を受けることにより、直接子どもに関わるスタッフのスキルを向上させる。</p>
一般社団法人 レアーズ	中頭郡 読谷村 人と人の交差点を創る“結びプロジェクト”	<p>沖縄県中頭郡読谷村においてこども達がこどもらしく過ごせる環境づくり・夢を育むために以下の事業を行う。</p> <p>【食の魅力発信】《食事は楽しい 食事で繋がる 食事はパワーの源》 管理栄養士のスタッフと一緒に調理体験・栄養について考える機会・地域食堂を開催し地域のみんなが食で繋がるプロジェクトを実施。</p> <p>【出会い】《教科書やインターネットにはない“人との出会い”をコーディネート》 「村長ってどうやったらなれるの？警察官や消防士ってどんな勉強したの？ユーチューバーってどうやったらなれるの？」さまざまな職種の方や面白い活動をしている高校生・大学生との出会いを提供。大人になるまでの成功・失敗体験を聞き未来へのイメージをより具体的に知る機会を提供。</p> <p>【学習支援】 教育ICTを導入し、学びの機会を提供。</p> <p>【体験・ワークショップ】 こども達の“やってみたい”的な声を大事にした体験活動。こども達と企画し、企画する大変さ、実行するまでの過程、実行できた達成感、成功も失敗も共に経験しこども達の自主性や協調性、自己肯定感を育む。</p> <p>【ネットワーク構築】 株式会社FMよみたん（特定非営利活動法人いちへき）の協力のもと、地域ネットワークの構築を目指す。事業終了後の出口戦略とし、事業終了後もこども達に対し、地域で出会いの機会や体験の提供、見守り体制の構築など、地域の皆様の優しさが循環する地域づくりを目指す。</p>

社会福祉法人 雅福祉会	那覇市 まつしま子ども居場所における 食事支援ならびにICT学習支援等事業	<p>那覇市松島地域の多子家庭や母子家庭において、学童や習い事に通えず自宅や祖父母の家で過ごす状況が見受けられます。また、高学年になると部活や塾に行けない子ども達が放課後の時間を無為に過ごすケースがあります。特に母子家庭では子どもに十分な時間を割けない現実があり、このような背景から、まつしま子ども居場所では、子どもたちを支援する事業を立ち上げ拡充を目指しております。</p> <p>具体的には、現在週3回の学習支援（宿題のケア）や食事提供を週5日に拡大する計画です。支援員のサポートを受けながら宿題を進めたり、スポーツを通じ子ども同士の交流を深めます。従来より食事のバリエーションも拡充させ、学習支援については、新たに週3日、学生スタッフと共に、ITツールを活用し、個々の学年や学力に応じてサポートします。塾や学童に行けない子どもたちの受け皿となり、授業内容の理解を助け、苦手分野の克服を図ります。</p> <p>また、休日や長期休暇においては、体験学習（料理教室、ドローン教室、異文化交流、宿泊学習等）を学生ボランティアと協力しながら実施し、子どもたちの体験機会を増やしたいと考えております。高価なITツールや有料サービスに触れることで、社会の動向にキャッチアップし、将来の可能性を広げるきっかけを提供したいと考えております。さらに、保護者とも日々の支援を通じてコミュニケーションを図りながら関係者の負担感軽減を目指します。</p>
一般社団法人 地域共生ライフアップ	那覇市 子どもたちの成長を支える・明日を拓く事 業	<p>《事業内容》 多機能型の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食支援・生活習慣支援 <p>子どもたちが健全で充実した生活を送るため、成長期の栄養を支えるバランスの取れた食事の提供、食育活動、衛生的な生活(歯みがき指導など)、家事(掃除、調理など)、あいさつ指導や対人関係支援(礼儀やコミュニケーション指導)を行う。</p> <p>・ 学習支援</p> <p>勉強のサポートを行い学習習慣を身につけ、学力の向上につなげる。</p> <p>タブレット、アプリ教材を使用し、学習の遅れ補習や学習意欲の向上に取り組む。</p> <p>模試、検定などを開催、資格取得の支援を行う。</p> <p>・ 見守り支援</p> <p>居場所の開催を通して、支援の必要な子の安心安全な居場所の確保。孤独・孤立を防ぎ交流の場所の提供。</p> <p>養育状況の把握や必要な支援の把握に努め、個々のニーズに合わせた支援へつなげる。</p> <p>開催日時／①毎週月曜日～木曜日 13：00～20：00(17：30～中学生以上) ②長期休校時 月曜日～木曜日 9：00～16：00</p>

一般社団法人 宮古島こどもこそだて ワクワクみらい会議	宮古島市 高校生等夜間居場所の開設及び運営事業	<p>子どもの養育環境に複合的な課題を抱える沖縄県において、物価高騰や家賃高騰により離島宮古島市ではより深刻な状況がある。島内で特に不足する高校生等の夜間の居場所を開設及び運営し、居場所支援、学習支援、食支援、体験機会等を通じて、離島宮古島市における地域性及び物価高騰への有効な支援策を実証する。</p> <p>島内の高校生等向けの夜間の居場所において、進路選択のために必要な情報提供、地域社会と繋がる魅力的で専門的な体験機会、拠点及び家庭での十分な食事機会、拠点・自宅・その他の場所等の本人が望む場所で学習及び体験できる環境整備、対面またはオンラインで本人のニーズに合った学習支援、家庭支援及び卒業後の支援の切れ目を防ぐ支援等を実施する。</p> <p>【開所日時】週3日、16:00～21:00頃 ※学校長期休業中はニーズに応じて決定 【主な利用者】生活困窮その他の課題を抱える家庭の高校生等 【人員体制】支援員、相談支援員（医療・福祉）、学習支援員、キャリア・体験講師、専門助言講師、地域のボランティア等 【機能】居場所支援、食支援（食材提供・食事・共同調理）、学習・進学支援（オンライン・対面・学び直し・進学等）、相談支援（面談・動機づけ・繋ぎ・フォロー等）、キャリア・体験機会（デザイン・仮想商品開発・撮影・調理・自然体験・産業体験・地域行事等）</p>
スマイルベースいとまんみなみ	糸満市 こどもを見守り、受け止め、「やってみよう」につなげる食と学習支援事業	<p>学習支援: 学習サポート: 学校の宿題・予習復習支援による学習習慣の確立と意欲向上 体験学習: 文化・社会体験を通じた学びの深化と視野の拡大 学習支援の強化: 放課後学習室の環境整備、学習支援ボランティアの育成・拡充</p> <p>生活支援: 食支援: 食事提供、食育による知識啓蒙、食事を通じた交流機会の創出 生活習慣支援: 規則正しい生活習慣の確立、基本的な生活スキルの習得支援 食を通じた交流促進: 調理体験や食事会等の実施による、子どもたちのコミュニケーション促進</p> <p>居場所の提供: 安心・安全な居場所: 心理的に安定し、安全に過ごせる環境整備 地域との連携強化: 地域住民・関係機関との連携を密にし、地域全体で子どもを支える体制構築</p> <p>事業の特徴: 子ども食堂を拠点に地域に根差した支援を実施。個々のニーズに合わせた柔軟なサポートを目的に、教育に関心のある方、学習支援経験者、イベント企画運営が得意な地域人材を募り、活動参加の仕組みを構築する。 学習支援では基礎学力定着を重視し、算数・国語の基礎習得プログラムを定期的に実施する。 ICT教材整備や集中しやすい環境構築を図り、地域住民と子どもの交流機会を創出し、地域全体で見守る体制を構築する。</p>

あかばなーこども食堂	糸満市	子どもを支え貧困を根本的に無くす学習支援・食支援事業	<p>本事業は、あかばなーこども食堂の経験とネットワークを活用し、沖縄本島南部の糸満市を中心に地域団体と連携し、ITを活用した学習支援と体験型学習支援を提供します。IT学習支援では、個別指導を行い、不登校や引きこもり、遠方の子どもたちにオンラインで支援を提供します。これにより、学習の幅を広げ、自己学習スキルやデジタルスキルを養うことができます。今後はコンテンツ制作や習熟度管理を強化し、支援の質を高めます。</p> <p>体験型学習支援では、子どもたちが自ら企画し、運営するお祭りを開催します。テーマ設定、予算管理、広報活動など、事業運営に必要な計画を立て実行します。これにより、子どもたちは社会で生きる力やチームワーク、責任感を学び、将来的にはリーダーシップや独立心を育むことができます。</p> <p>また、わたしが所属する商工会や自治体、行政と連携し、こども食堂の料理を地域の子どもたちや大人と作り、食育を進めるとともに、地域社会との絆を深め、生活スキルや自信を高めます。これらの活動を通じて、子どもたちは社会で生き抜く力を養い、地域社会への貢献意識を高めることができます。最終的には、すべての子どもが公平な機会を得られる社会を目指し、地域全体で支え合う体制を築いていきます。</p>
合同会社OKICA	那覇市	不登校児童の居場所づくり(ほっとスペース)	<p>沖縄では、不登校の子ども達が年々増加しており、学校以外の居場所がないため、多くの子ども達が孤立しています。この課題に対し、私たちの団体はメタバースとリアルのハイブリッド通学を提供し、オンラインとオフラインを融合させた学びの場を通じて、子ども達に豊かな教育体験や信頼できる大人との出会いを提供します。目指すのは、全ての子どもが「幸せになる力」と「人を幸せにする力」を身につけ、自分や社会に希望を持って生きることです。この取り組みは、150年以上続いた「教育=学校」の常識を覆し、子ども一人ひとりに合った教育を選べる社会を実現するための第一歩です。</p> <p>また、私たちの個別学習塾の強みを活かし、学習の質を最大化します。塾では、個々の学習スタイルに合わせた指導を行い、子ども達一人ひとりに最適なカリキュラムとペースでサポートします。これにより、子ども達は自分のペースで学べる環境を享受し、学習に対する自信を深めることができます。さらに、地域リソースを活用し、実践的な体験を通じて「学びは楽しい」という感覚を取り戻します。子ども達のモチベーションを引き出し、学びの意欲を支える環境づくりにも力を入れています。</p> <p>オンラインとオフラインの融合により、子ども達が自信を持って成長できるよう、全力でサポートします。</p>
株式会社 琉球GLOCAL サービス	宜野湾市	学問を諦めないオルタナティブスクール事業の運営	<p>学問を諦めないオルタナティブスクール事業の継続的な運営と、チャンプリンガルによるSTEAM教育と多文化共生の促進を基盤としてさらなる充実を図る。当団体は、琉球大学と連携し、難民の背景を持つ留学生（高度外国人財）によってオルタナティブスクール事業を行っている。これまでの運営の中で、様々な困難や背景を抱える子どもたちの飛躍的な成長を目の当たりにし、STEAM教育には様々な困難や背景を抱える子どもたちの将来を広げていく可能性が大きいにあると考えるに至った。また、多文化理解教育を行うことで、発達の課題が多い子どもやいじめの対象となった子どもも、他者や社会への興味が広がり、自己への信頼を取り戻しているように見える。</p> <p>また、地域に存在する貧困家庭の子どもは、塾や習い事はもちろん、学童クラブにすら通うことができない現状も目の当たりにしてきた。そこで、本事業では、貧困家庭で育つ子ども（発達に課題を抱えている、いじめや不適切な関わりによって学校に行くことができないなどの背景を持つ）に対しても、オルタナティブスクールでのSTEAM教育と多文化理解教育を提供する。物価高が進む中、地域内での格差は広がり続けており、子どもたちの生活習慣・学習・教育の機会への影響は甚大である。当団体のノウハウとスキルをもとに、子ども食堂や学習支援の機会も設け、地域の子どもたちの生活・学習の支援へも支援を広げる。</p>

一般社団法人くじら寺子屋	沖縄市	子どもの未来創造応援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに体験活動 創作エイサー活動。人前で発表する機会を作る。発表会の運営を子どもたちと共にを行い舞台を支える役割の重要性を知ってもらう。県外遠征をして団体行動から学ぶ。子どもたち自身が出来ることを増やす。自信をつける体験を行う。 夏休みプログラミング集中講座。デザインアートクラス、スクラッチクラス、3Dモデリングクラス、パソコン作り体験クラスの実施。 ・不登校などの子どもたちへ学習の場の提供 学校に行くことに課題がある子どもたちへ学習の場の提供。小学校に登校を認めてもらえるか交渉する※登校を認めるのは校長権限となるため不確定だが、沖縄市役所子ども家庭課には事業実施の際には協力していただけると了解済み。沖縄市、うるま市、北中城村のSSWと連携して事業を行う。 ・不登校や高校生以上の生きる力育成 調理や生活するための基礎を一緒に体験し生きることの力をつけ、自信をつけてもらいステップアップのお手伝いをする。 ・スタッフと大学生や高校生と支援の現場や大学の研究室を見学に行く 沖縄県内の支援の現場や県外の支援の現場をスタッフや大学生・高校生と共に見学に行く。様々な支援について知り、活動を続けていくことが出来る体制の構築に役立てる。
べびまのにこにこごはん	宜野湾市	べびまエールラボ	<p>事業概要：すべての子どもと若者に学びの機会を</p> <p>経済的な理由で学習機会を得られない子どもや若者のために、無料の個別学習指導の場を提供します。ひとり親家庭の子どもを中心に、学びの意欲があっても諦めざるを得ない状況を変え、安心して学べる環境を整えることを目的としています。</p> <p>① 無料の個別学習指導の提供</p> <p>学びの場では、高校生から大学生のアルバイト講師を採用し、年齢の近い先輩として子どもたちの学習をサポートします。個別指導形式を基本とし、一人ひとりの理解度や学習ペースに合わせた支援を行います。</p> <p>② 高校に行かずに働く若者への学びの支援</p> <p>高校に進学せずに働いている若者が、仕事をしながら学び直したいと考えたときに、それを受けられる環境を整えます。基礎学力の向上から資格取得まで、多様な学びを支援するため、適切な講師を発掘し、学習プログラムを提供します。</p> <p>③ 学びと食の支援</p> <p>学習の場では、学ぶだけでなく、安心して過ごせる居場所としての役割も果たします。食事の提供や食品支援を通じて、学びに集中できる環境をつくり、心身の安定を図ります。</p> <p>この事業を通じて、家庭の経済状況に関わらず、すべての子どもと若者が学ぶ権利を守り、未来への選択肢を広げることを目指します。</p>

NPO法人ひだまり	宮古島市	ちいきの保健室たね	<p>ひとり親世帯や多子世帯が多く、市民の所得が低水準にあることにより、子どもの貧困問題と地域で孤立する子育て世帯が深刻な状況にある。このことを背景に、子ども達や子育て世帯が安心して過ごせる場所を提供する。貧困を理由に地域の中で孤立してしまうことの無いよう、地域の人々が支え合って暮らす持続可能なコミュニティを形成できるよう支援する。</p> <p>* 子ども食堂；平日の放課後に子ども達に無料で軽食の提供を行う（平均10名/日程度）。特に貧困家庭やひとり親家庭の子ども達に対しては食事提供を通して子ども達の健康状態や生活の変化に注意して見守りを行い必要に応じて行政機関と連携する。また、月に一回土曜日に子どもに限定せず地域の人々を繋ぐ場として「ちいき食堂」も開催（100食程度提供）。</p> <p>* 子育て世帯支援；子育てに関するスキルのある講師を招いてイベントを開催。子連れで参加できる体制を整え、子どもを預けてゆっくりと過ごし気分転換をして、他の参加者と交流し、繋がれるきっかけ作りをする。</p> <p>* フードバンク、フードパントリー；地域の農家や企業、個人から集まった食糧品を貧困家庭に分配する。家族構成に合わせて月1～2回。</p> <p>* 子どもの生活支援；不登校児や居場所を必要としている子ども達が、無料で自由に食事や簡単な学習支援を受けられる場所を提供。安心して過ごせる環境の中で見守りを行い、必要に応じて行政機関と連携し、子どもの安全を守る。</p>
-----------	------	-----------	--

※ 事業概要等 申請書からそのまま転記